

月日会々報

発行所
都立田園調布高等学校
同窓会 月日会
東京都大田区田園調布南27-1
発行人 田中博隆
編集責任者 重谷麻奈美

おもな内容

- 十一月二十三日創立60周年記念式典
- 山田元校長先生、石川元校長先生、松野下前校長先生、新野先生 寄稿
- 桐の木 七本に！
- これからも走りつづける田園調布高校 (14期植田まさし様)



母校に更なるサポートを

月日会 会長(6期) 田中博隆

月日会会報30号が、田高創立60周年の記念すべき年にお届けできますことを喜んでおります。年1回の会報ですが、6面にわたって一年間の活動を掲載させていただきます。これからは一層のお力添えをお願いいたします。私が大学生のとき、創刊号の編集を致しました。長い年月がたち、田高が20年の選歴を迎えました。10年、20年、30年、40年、50年、60年と走りつづけてきました。月日会は、田高が発展できます様に、そして地域に開かれた学校にと各種事業などを支援してきました。今年60周年を迎える母校に、皆様の更なるサポートを心よりお願い申し上げます。

このたび、東京都教育委員会委員長 木村 孟様をお尋ねすることができました。都立田園調布高校60周年とオール田高の月日会、財団法人田園調布PTA、清流会の活動をご理解いただきました。励ましのお言葉をいただきました。「60周年おめでとう。田高のコミュニケーション奉仕活動は、素晴らしいです。進学ががんばっていますね。今、都立高校はあとひと頑張りです。皆様も、もう一押しして下さい。」大変ご多忙のところご面談いただきまして心より感謝申し上げます。

田高60周年記念事業を盛り立てたく、月日会14期生植田まさしさんに、「コボちゃん」の応援をお願いいたしましたところ快くご協力いただき本当にありがとうございます。

東京都教育委員会委員長
木村 孟様(右)
(文部科学省にて)



田高60周年記念事業を盛り立てたく、月日会14期生植田まさしさんに、「コボちゃん」の応援をお願いいたしましたところ快くご協力いただき本当にありがとうございます。

年会費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしくお願ひします。

会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき感謝しております。この会報を皆様にお届けできるのも皆様からの年会費・ご寄付のおかげです。今年度は、ご寄付のなから母校六十周年事業のための支出を計画しておりますので、ご寄付へのご支援・ご協力を重ねてお願い致します。

新生 田園調布高校

都立田園調布高等学校長 第16代 中野英雄



4月7日新入生241名を迎えて平成21年度第60回入学式を挙行しました。この記念すべき時に田園調布高校の一員として立ち会える者の幸せと使命を、

式辞の冒頭で次のように述べました。「本校は昭和25年に創立し、以来本年度60周年を迎えます。ここに学び、ここを巣立っていった同窓生は1万5千人を超えます。多くの同窓生が各方面で活躍しておられることは、現任ここに学ぶ者にとりまして誠に心強く感じると共に、その伝統に恥じぬように誓いを新たにするとともに、」

田園調布高校は月日会、清流会、PTAそれらをまとめる財団法人田園調布という強力な後援組織に見守られて生徒はのびのびと明るく学園生活を謳歌することができています。

記念事業実行委員会を中心に記念誌の出版も含め、11月23日の記念式典・祝賀会と着々と準備を進めています。式典でも、生徒たちの日頃の活動の成果を披露し、活躍する姿の一端をお見せすることが出来ます。

今春の入試での高倍率に見られるように、田高の人気は高まっています。これは、今までの教員の時間を惜しまず一人一人の生徒を大切に、学習や生活面を親身になって面倒を見てきた地道な積み重ねと、新しい取組が実を結んできつたからです。

今年度は更に、学力向上・進学実績の向上・部活動の活性化を目標として掲げ先輩方の築いた伝統を継承・発展させていく所存です。

学校の選歴を機に、新生田園調布高校の更なる飛躍をご支援ください。



卒業生へ記念品贈呈 山本副幹事長

57期生卒業式
去る3月14日、母校体育館にて第57期卒業式が厳粛に開催されました。

卒業生からの言葉には高校生活の思い出と新たな出発への思いが溢れ、心を打たれました。校歌斉唱では、卒業生の席から混声合唱による校歌が体育館中に響き渡り、思わず聴き入ってしまった素晴らしさでした。

今回から、月日会贈呈の卒業証書入れがホルダータイプに変わり、見開きで見やすくなりました。

24期 山本 順子



校歌紹介

60期生入学式
4月7日(火)晴れ渡る青空の下、第60回入学式が行われました。一人一人の名前が呼ばれるたびに、新入生はこれからの学園生活への大きな期待と希望に満ちた顔をみせていました。

今年度は、清流会、月日会からの出席に加え、卒業生ボランティアとして柔道部の指導をしている深瀬紘昭さん(10期)、東京マラソンで「52日間連続フルマラソン」というギネス記録を達成した植田昭徳さん(10期)も出席され、新入生を激励していただきました。

19期 鍵和田幹夫

今春六十期生
二四一名入学

田高60周年の節目の年に副会長という要職を担うこととなりました。同窓会活動の基本は当然ながらボランティアですが、これまでの60年間に諸先輩が築いてきた様々な活動の歴史を途切れることなく発展させ、会員数1万5千人を超えた月日会が次の世代に引き継ぐ責任も負っています。

これらの課題を成し遂げるには、個人の力だけでは不可能で、有機的に組織が機能する仕組みを整えることが必要です。そのうえで、幹事一人一人が自らの役割と責任を自覚し主体的に活動することで、組織はより強固なものとなります。そして、月日会はもう一歩高いレベルの活動を進めることができるでしょう。

そのためには、より多くの会員のご支援(①会費の納付②月日会諸活動への積極的な参加等)が必要です。今後ともよろしくお願ひいたします。

新副会長
19期 鍵和田幹夫



多摩



新卒 五十七期生

二百二十九名
田高卒業生は延一万五千四百九十三名となりました。連絡可能月日会会員は、約一万一千七百名です。

都立田園調布高等学校

- 11年11月 田高創立50周年記念祭
- 14年11月 月日会50周年記念総会(品川プリンスホテル)校旗贈呈、桐の木3本植樹、校歌CD制作
- 19年11月 月日会55周年記念総会(東京工業大学百年記念館)桐の木2本植樹、陶芸作品贈呈
- 21年11月 田高創立60周年記念式典(予定)
- 月日会会報 平成11年第20号~平成21年30号

歴代校長先生よりお祝い

学校週5日制と田高



在任当時の山田辰明先生(平成13年)

第13代校長 山田 辰明

学校完全週5日制の目的は、生徒を学校の内外・地域に戻して、文化活動、余暇の活用、ボランティア活動など、日本社会の成熟化に向けた必要な資質、態度を、時間的に余裕のある週末に育むことにある。私が田高在職中にスタートしたが、実施上私には大きな不安があった。毎週土曜と日曜のまる2日、小中学生はともかく家庭や地

域社会に、高校生を引き受ける場所や施設、面倒を見るスタッフはたして十分に備わっているだろうかという疑問。自分の間、学校がその役を引き受けざるを得ない、というのが当時私の考えであった。それは補習習や部活動を通じた土曜日の有効活用だ。特に田高生徒の多くは、上級学校への進学を志している。高校側が学校週5日制で学習時間を減らしても、相手の大学は一定の学力水準を求めているという悩ましい課題を田高としてどうクリアしていくか。対応は多様にあるが、できることからやってみようという考えのもと、まずは土曜日の午前中を自学自習の時間と位置づけ、外部から講師を招いて指導を仰ぐことを企画した。幸い講師に関わる予算は都教委が出してくれられたことになった。会場は明るく空調も利く視聴覚教室を使うことにした。開講当初は予想したほどの利用者はなかったが、その後、土曜日の学校を学力の向上のために活用するという考えは徐々に生徒・保護者・教職員の間に浸透していった。現在では、かつての学校週6日制に戻った超法規的な学校も見られるようになった。

「校歌」

第14代校長 石川 直弘

田高に着任して間もなく月日会の役員の方々とお会いしたとき、皆さんの校歌に対する思い入れの強さが大変印象に残りました。私自身も出身高校の校歌を今でも仲間が集まると歌い出すので、大いに共感しました。

当時田高では式典以外には歌われていませんでしたので、折に触れて歌いたいと考え、最初の一步として体育祭で歌うことにしました。そのときはまだ全生徒が一体となって盛り上がる歌声とまではいきませんでした。が、式典とは違う大声で校歌を歌う生徒の姿に感動しました。ところで、ほとんどの高校の同窓会が有名無実化している中

選ばれる学校

第15代校長 松野下 健

平成18年度から務めさせて頂いた2年間は、都立学校改革が制度改革から内容の充実に移る時期であった。少子化の進展とともに、それ以前に導入された学区制の廃止は、学校が生徒を選ばず時代から、生徒に選ばれた時代へと急速に変化する時であった。このような背景はあるものの、やはり生徒が伸び、保護者が預けて安心する学校の実現は学校教育に携わる者の共通の願いである。2年間でアドバンストクラス、朝の読書、合唱祭、日本の伝統文化の授業を始め、生徒を伸ばす取組を多く導入した。この間、田中博隆会長を始め、月日会の皆様には物心

で、月日会が日常的な活動を持続していることは大変貴重で素晴らしいことだと思います。田中会長が常々口にしている「田高大好き人間」が代々脈々と育っていることの証でもありません。

創立60周年を迎えて、田高と月日会の益々の発展を心から願っています。



在任中のぼろにあ祭にて石川直弘先生(右)(平成16年)

保護者の皆様よりお祝い

清流会会長 糸瀬 敬一

田園調布高等学校60周年おめでとうございます。

50周年からあつという間の10年間だったと思います。ちょうど自分の息子が50期生でその間PTAを経験させていただきました。子どもの卒業と一緒に清流会へ入会いたしました。ところで「セイリュウカイ」ってなんだろうって思われる方も多いと思います。ことばの響きではちょっと怖い会なのではなどと笑い話も聞きますが、PTAの同窓会(OB会)です。全国の高校でも珍しい組織だと思います。学校行事と一緒に参加したり、バス日帰り研修や親睦活動などを通じて田高生活をエンジョイしています。

60周年を迎える今

現PTA会長 田中美枝子

画面から応援して頂いた。お陰様で、これまで以上に多くの中学生が入りたいと望む学校になってきている。田高の良さはいくつもあがるが月日会の存在のありがたさを感じ続けた2年間でもあった。



私は田高とのお付き合いは3年目となります。都立高校に対して、私自身においても初めての経験です。私立志向の中、「はたして本当に娘を預けるだけの期待に答えてくれるのか」と、不安が無かった訳ではありません。しかし、入学してすぐの担任団をはじめ、校長先生以下の学校、生徒への情熱には私立を上回る気迫を感じ、同窓会の熱情にも、何より娘自身の毎日にも、良い学校へ入学させたと思っております。

「還暦」ともいえる節目の時に田高に居合わせた喜びと、先人の築いた歴史の一石になれたことを感謝いたします。

☆これからも走りつづける
田園調布高校!!



2009.6.26 植田まさし

(14期生 植田まさし様)



校長室にて(平成20年) 前列中央 松野下 健先生 後列右2番目 糸瀬敬一さん(清流会)



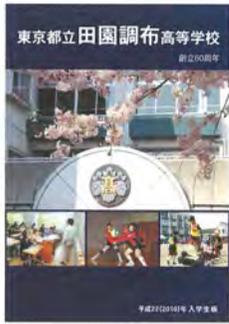


57期生への卒業証書フォルダ

田園調布高等学校同窓会 60周年記念総会



月日会50周年総会で校旗贈呈



創立60周年、平成22年入学生版学校案内

ぼろにあ77号(P.T.A会報)

祝 創立60周年 高 者

〜今秋11月23日(月)・祝〜 特集 半世紀の歴史から

東京都立田園調布高等学校 創立60周年記念式典・祝賀会のご案内

記念式典 平成21年11月23日(月・祝)午後2時開式 めぐるパーシモン 大ホール(無料)1200名予定

祝賀会 平成21年11月23日(月・祝)午後5時30分開式 めぐるパーシモン 小ホール(6千円)200名予定



記念式典・祝賀会とも出席希望の方は会報同封の振込用紙にて8月末日までにお申込み下さい。学校行事への月日会参加ですので、人数に限りがあります。多い時には申し訳ございませんが、抽選させていただきます。

月日会会長 田中 博隆 (創立60周年記念事業委員長)

現任教諭より

11月23日(月)は創立60周年式典に集え

地理・歴史科 笹川耕太郎

ワンゲル愛好会の生徒と羽田の町を歩いていると、49期の青木さんに声をかけられた。見覚えのある顔が大きな帽子の下から現れた。彼女の友人である町田さんの顔も思い出した。彼等とは矢口養護学校のボランティアに出かけたものだ。小中学生とスポーツチャンバラやTボールなどのゲームを楽しんだ。心地よい汗をかき、心に満たされるものを感じて家路を急いだ。その田高生の優しさは今も息づいている。3月には、1年生を中心に東京マラソンのボランティア(2110名が参加)を実施した。4月には、2年生の有志が多摩川台のガーデンパーティのスタッフとして活躍した。小学生とゲームを行い、子供たちの心を捉えてサインをせがまれるまでになった。

ところで今年には創立60周年の年である。体育館で創立50周年式典を祝って早10年だ。その間に活躍している吹奏楽部や、箏曲部の生徒達が、先輩方に日ごろの成果を披露しようと張り切っている。新しいダンス部も練習に余念がない。11月23日勤労感謝の日には、東横線都立大学駅にある「めぐろパーシモンホール」で開催される創立60周年式典に集まろう。旧交を温めよう。

国語科 安田 彩夏

今年には本校に着任してから2年目に入ります。生徒達は人懐っこく、校内で会うたびに元気に挨拶を交わしてくれる子が多く、昨春に感じた「田高生の雰囲気」というのを、今年にはさらに感じる日々です。「田高生の雰囲気」といっても、まだまだ言葉にするには難しい部分もありますが、何よりも印象的なのは、自分の趣味や好きなことをとても大切にしている点です。勉強をベースにしながらも、生徒会、読書、ゲーム、その他様々なことに対しての興味関心を今後も持ち続けてほしいと願っています。私も高校生のパワーに負けず、生徒をはじめ田高に関わられている方々と共に成長していけたらと思います。



平成21年6月9日 体育祭開催

今の田高生

生徒会の活動

今年度も、田高では、体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭、球技大会など生徒会行事が目白押しです。また、今年度は新しく、ベクトロボールのふた(エコキャップ)を回収してワクチンにかえる活動にも取り組んでいます。各クラスや職員室に、エコキャップ回収用のかごを用意しています。取り組んでまだ4か月ほどですが、すでに段ボール3箱分くらいになりました。

吹奏楽部の活動

今年度の吹奏楽部は、新1年生22人、2年生11人、3年生19人の態勢でスタートしました。入学式、卒業式での入退場を始めとして、年間の演奏会は8回になります。6月のミニコンサート、文化祭、高文連地区大会、同じく中央大会、本校独自の田園調布特別支援学校文化祭での演奏、3月の定期演奏会が活動の内容になります。今年度は、11月の60周年行事においても演奏させていただくことになり、部員一同、またOBの方々も張り切っております。聴いて下さる皆さんに楽しんでいただけたら幸いです。練習したいと思えます。

野球部の活動

部員33名(男子30名、女子3名)、顧問5名 活動日:平日は火・金、土日。 最近の大会実績(昨年の夏季大会) 10対0(6回コールド)で初戦を突破し、久々の三回戦を神宮球場で戦うことができました。また、秋季大会ではブロック予選で2勝し、決勝進出を果たしました。決勝では桜美林に敗れましたが、春季大会の本選出場権を獲得しました。今春の大会は惜しくも初戦で敗れてしまいましたが、気持ちを切り替えて夏季大会での勝利を目指して日々一丸となって練習に励んでいます。これからも応援よろしくお願いします。(夏季大会、七月十二日、日大桜丘と第一戦です)



53期生のぼろにあ祭の思い出

旧教諭より

英語科 新野 京子

49期生の九州修学旅行は鹿児島、宮崎、熊本の3グループに分かれてのスタートでした。それぞれのグループが1泊目を過ぎた後、学年全体が雲仙で合流して、3日目の長崎のハウステンボスへ。ホテルの玄関でオーストラリアからの東京都の交換留学生アレックスも一緒に節分の豆まきをしたことが心に残ります。旅行担当の森先生が「将来、一人一人が紳士淑女としてこの土地へのリビーターになることができるような旅行にしたい。」と言われましたが心に残る充実した3泊4日でした。この修学旅行で各クラスが結束し、そのパワーで3年生の体育祭、秋の演劇祭が盛り上がりを見せました。

田高服装今昔 (推奨服制定)

月日会幹事長 38期 熊谷 和巳



平成20年度より、田高に推奨服(ブレザー)が制定されました。

長年生徒の服装は生徒各自の責任で管理していますが、近年、「公式行事の場の服装にふさわしい制服的な物が欲しい」と生徒及び保護者から求められ、推奨服の制定となりました。私の在学中は標準服(学ラン・セーラー服)が有り、中学生時の学ランをボタンを付け替えて使った物です。今回制定されました推奨服は清々しく高校生に似合うものと思えました。今年の60周年記念式典の際にも会員の皆さんに推奨服を着た在学生の姿をご覧いただけたらと思います。

近況お便り ありがとう

この近況お便りは、昨年発行の会報に同封されていた年会費納入用紙に記入されていたものです。ご記入いただきました内容については「近況お便り」として掲載される可能性があること、ご記入いただいたも掲載できないこともございますことをご了承ください。

旧教頭 大森 義宏

80歳を過ぎて、さすがに老いを感じます。一番の難敵は地下鉄などの階段です。社寺の石段もついつい失礼して下の方から昇って居ります。70歳過ぎてから趣味一辺倒の生活です。

1期 秋山 幸子

70才も過ぎて毎日忙しくすごしております。ゴルフ、マージャン、カラオケ、食べ歩きなど、たのしい毎日です。

2期 梶 太郎

元気で第4の人生を歩んでいます。

3期 船木 久枝

月日会の増々の進化を田舎の片隅から喜んでおります。老いたとはいえカラオケ司会等を引き受けて頑張っています。医者通いをしないだけ世の為人の為に思っています！

4期 梨本 正子

35年間の水泳コーチ生活を昨年卒業して現在は自由に時間を使っています。

5期 嶋田 早苗

定年5年、サンデー毎日も板についてきました。江戸時代町触史料集などの統編に携わっています。

7期 田中 洋一

元気で現役で仕事しています。

9期 大島 桂子

今は母の介護の時だと思っても少しも気分よく母が過ごせるようお願いながら施設通いをしていきます。

13期 篠沢 達也

定年後もまだ現役で仕事をしています。4月から大学院にも行っています。13期生の同窓会も開きたいと思っています。

31期 竹尾 正

卒業して25年。立場上、出張が多くなりました。名古屋、大阪方面の新幹線では必ず、多摩川の手前の左側を見上げます。そして想い出が...

36期 北村 直美

主人の転勤で富士の裾野に引越しました。都会育ちから田舎暮らしで、慣れるのに苦労しています。

44期 林 隆三

現在大東文化大学にて働いておりますが、田高から多くの入学者が来ることを願っております。本年三月に北里大学化学科卒業見込。

53期 小平 哲也

母校第2期卒業生の同期会が平成20年9月26日、帝国ホテルに於て新垣先生をお迎えし、33名の同期生が集まり開催されました。

2期同期会より

毎年開催されており、元気な姿で再会出来るようお互いに誓い合いました。

2期幹事



7期同期会より

田高卒業50年目の出合い。去る6月20日ホテルパシフィック東京3F「ピコロモンドアット・ザ・ガーデン」に於いて開催しました。

金子喜一郎

9期同期会より

08年11月8日(土)第5回同期会が青学会館アイビーホールで開催されました。1961年3月に約250人の我々が卒業してから早47年を経て、5度目の同期会となりました。担任の先生方も少なくなり、それでも「吉田善雄先生、山下良章先生、石井(旧姓吉田)ミサ先生、新垣進一先生」の4人をお迎えし、同期56人の懐かしい顔、顔、顔。会の途中で、同期から出ている月日会幹事による同窓会活動の紹介等があり、地道な活動に理解を得られ、2次会の席上、田高創立60周年記念事業の一助として、多額(¥52,337)の寄付が集まり月日会へ寄付しました。

9期同期会幹事一同



進路状況

入試形態の多様化により、様々な推薦入試合格者がここ2~3年同様に増加している。学力上位者は、指定校推薦(38名)により受験する傾向は変わっていない。今後、センター入試や一般入試で合格できる実力を養うことが課題である。 副校長 浅見 弘

57期生の進路

Table showing career paths of 57th year graduates: 四年制大学 123, 短期大学 23, 専門学校 29, 就職 6, 浪人他 48, 合計 229.

合格者の多い四年制大学(浪人生含む)

Table showing top universities for 57th year graduates: 神奈川 14, 東京都市大 8, 関東学院 14, 東洋 8, 日本 12, 国士館 7, 立正 12, 國學院 6, 東海 8, 専修 6.

月日会へのご寄付とバザー献品をありがとうございました (平成20年度分)

- List of donors and their contributions for the 20th year of the monthly meeting, organized by year (e.g., 1期生, 2期生, etc.).

教職員異動

Table of staff movements, including transfers, retirements, and new hires for the school.

幹事会便り

平成20年度活動は以下の通りです。

- 幹事会活動
入学式出席(4月8日)校章
バツ贈呈
幹事会(5回)
会計委員会(4回)
会報委員会(12回)
会報29号発行(7月)
ぼろにあ祭参加(9月20日、21日)
卒業式予行(3月13日)卒業
生へ月日会の説明
卒業式出席(3月14日)卒業
証書ホルダー贈呈
母校協力活動
創立60周年記念事業委員会(4回)
体育祭(6月7日)応援
PTA協力活動
ぼろにあ祭バザー実行委員会参加(7月5日)
PTA手作り講習会参加(9月6日)
ぼろにあ祭バザー協力(9月21日)売り子役で手伝い
ぼろにあ祭バザー反省会参加(10月4日)
財団法人田園調布協力活動
財団法人田園調布評議員会(6月14日)
財団法人田園調布歓迎迎会参加(6月28日)
財団法人田園調布中学生サッカー大会協力(11月23日)
財団法人田園調布グラウンド抽選立会い、12回(毎月第1水曜日)
清流会協力活動
清流会総会参加(5月31日)
清流会研修旅行参加(11月30日)
学校運営連絡協議会開催
田高小会議室にて(6月26日)田中会長出席

幹事長 熊谷和巳 (38期)



昨年10月23日大田区長室にてバザー売上の一部を寄付しました。

平成20年度も母校及び田高関連の各団体と協力の下、幅広く活動する事が出来ました。本年度は母校60周年記念式典を控え、より一層濃密な活動を展開したいと思っておりますので、会員の皆様のご支援を宜しくお願い致します。

「新幹事になって」

57期 高橋 正明

私は在学中、生徒会に所属しており、そこで様々なことを学びました。今の私があるのも田高のおかげと言っても過言ではないと思います。これからは月日会幹事として、田高に恩返しをするつもりで活動に励みたいと思います。



今年も新たな幹事を迎えました。前列右から2番目 高橋くん

平成二十一年度 月日会役員

Table listing the names and terms of the executive committee members for the 21st year, including roles like Chairman, Vice-Chairman, and various committee members.

Table listing the names and terms of the advisory committee members for the 21st year, including roles like Chairman, Vice-Chairman, and various committee members.

平成20年度 会計報告

Financial report table for the 20th year, showing income and expenditure details such as membership fees, administrative costs, and fundraising.

平成二十一年度分の月日会収支は表記の通り決算致しましたのでご報告申し上げます。
平成二十年度の会計報告について適法かつ妥当であることを認めます。

平成二十一年度会計報告

平成二十一年度予算

平成21年度 予算案

Financial budget table for the 21st year, showing projected income and expenditure details.

五月十六日(土)の幹事会にて承認されました。
母校60周年記念事業に支援するため、皆様のご寄付をお願い致しております。
また、会報も6ページ、全面カラーの予算としました。

桐の木7本すくすくと

校章の「桐の木」が、母校の庭で7本になりました。月日会50周年記念の「桐の木募金」で、3本植樹され、春には紫の美しい花が咲いています。その後の募金でさらに55周年記念の折、2本植樹されました。そして、うれしいことに落ちた種から2本が育ちました。7本元気です。すくすくと美しく伸びてゆく成長がとても楽しみです。これからも、月日会の象徴としての「桐の木」を植え続けてゆきたいです。会員みなさまの募金をよろしく願いいたします。母校の経営企画室の皆様、用務の皆様を守っていただいています。ありがとうございます。
春、満開の「桐の花」で校庭が埋まるのを、沢山の方に見てもらいたいと夢を広げています。「桐の木」の田高と呼ばれ、にぎわうように。



ぼろにあ祭「ミニユニティ」

毎年ぼろにあ祭がともなう楽しみになっていきます。月日会の小会議室は年々顔見知りの方々が増え、ミニ同窓会、同期会の雰囲気になり、プラスこれから田高生になるかもしれない小中学生等が各コーナーで楽しそうに挑戦したり、父兄や、近隣の方々が物づくり講習に熱中している光景はちよっとした「なごやかコミュニティ」です。

ここ数年午前中は「ふれあいバザー」を、午後からは月日会の展示、講習コーナーに参加しています。バザー会場では、売り子さんの経験が出来て、自分が献品した物が売れたり、褒められたりすると嬉しくなり、疲れも飛んでしまいます。今年も田高創立60周年なのでぼろにあ祭のバザーは例年より人が集まるのではと期待し、私も手作り



品を出そうと今から準備しています。
展示コーナーでは過去の月日会報から私の手元に無かった号を読むのが楽しみです。
写真展では、田グラの台風被害や整備の状況、少年野球大会の様子などを知り、財団、同窓生、在校生の奉仕活動の様子が解りました。

今年このぼろにあ祭は9月19日(土)、20日(日)に開催されます。(2日間公開)

9期 簡 敏

楠田昭徳さん(10期) ギネス記録(52日間連続フルマラソン)達成



雨の日も雪の日も風の日も、毎日フルマラソン(42.195キロ)を走り続けて52日間。その距離は、合計2194.14キロ。
楠田昭徳さん(10期)は、東京マラソン(3月22日)で「52日間連続フルマラソン」というギネス記録を達成しました。楠田さんは、陸上部OBで、箱根駅伝にも4年連続出場しています。



完走目指して走る楠田さん(10期)

19期 鍵和田幹夫
http://blog.goo.ne.jp/smiles404-2586/

第二回小学生野球大会

2月22日(日)多摩川河川敷グラウンドにて、財団法人田園調布主催による第二回小学生野球大会が開催されました。
前日までの雨のためグラウンドに若干の影響もありましたが、当日は天候にも恵まれ、小学生たちの熱い戦いが繰り広げられました。今回は現役野球部員の他にもボランティアの田園生が参加してくれたことで、前回に増して良い交流となったのではないのでしょうか。
今後も月日会として協力していきたいと思っています。



45期 浅田 裕一
(今年度は、明年の二月の予定です。お問い合わせ下さい。)

第五回中学生サッカー大会

昨年11月23日に多摩川グラウンドにて、財団法人田園調布主催大田区サッカー協会後援の財団杯サッカー大会が行われました。
絶対のサッカー日和に、中学生4チームの熱戦と、監督コーチ陣vs田高サッカー部の練習試合が行われ、グラウンド狭しと走り回る選手に目が離せませんでした。田高サッカー部は審判や会場準備にも活躍してくれました。皆様、懐かしい田グラでの大会です。ぜひ応援にお越しください。



24期 山本 順子
(今年12月の予定です。お問い合わせ下さい。)

パソコン講習会の開催

22年2月6・13・20・27日(土)4日間講座。
田高パソコン教室にて。
大田区報12月号に応募掲載されます。ご応募下さい。



45期 山田 浩一

パソコン講習会

昨年も、本紙上にて財団・大田区教育委員会主催パソコン講座開催についてご報告させて頂きました。2008年度も継続して本講座を10月・11月に1講座、年が明けてから2009年1月・2月にかけて開催しました。1講座あたり4日間計10時間の講座で今年度は2回実施致しました。受講者は約60名、運営サポートとしての参加者は100名を超え、盛大にパソコン講習会を開催させることができました。

多摩川河川敷グラウンドに水道設置



長い長い夢だった田グラに水がきました。東日本旅客鉄道(株)と大田区様の絶大なご支援によって設置することができました。
(財団法人田園調布)



合唱祭

21年1月30日
大田区民プラザにて
一、二年生全クラス、三年有志。
課題曲の校歌と自由曲で熱唱されました。



カップと賞状を手に喜ぶ生徒達



大田区主催 多摩川河川敷 美化活動に参加

田高生250名が集合!!
6月14日(日)



編集後記



2009年3月大学卒業式にて

今年で田高を卒業して6年目。卒業と同時に常任幹事として活動を始めましたが、昨年度より会報委員長の仕事を任せられるようになりました。前号は前の会報委員長である千本さんのご指導の下、会報委員会の仕事を進めてきました。今号からは私が中心となり運営していくということから、大きな不安を抱えながらのスタートを切りました。

私自身、今年の4月から新社会人として働き始めたばかりで自分の事で手一杯。そんな私に会報委員長という仕事は大きな悩み事でした。しかし、先輩幹事だけでなく、たくさんの先輩方のご協力を得て、記念すべき会報30号が発行されました。また田高も今年60周年を迎えることとなり、私自身がその節目に会報を通して関わられることを光栄に思います。

まだまだ未熟な会報委員長ですが、月日会員の皆様に母校の状況、同士の状況をお伝えできるような頑張ってまいりますので、どうぞよろしく願っています。

新会報委員長
52期 重谷麻奈美

手話講習会の開催

10月3日(土)
午後2時~4時
田高視聴覚室
大田区報8月11日号に応募
広告掲載されます。
ご応募下さい。